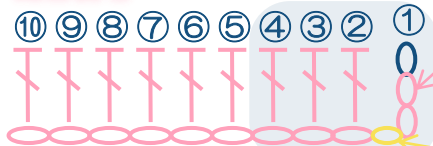


編み物Labo **いと基地の**
編み物算数②

ながあ **長編み＝鎖編み×3**
くさりあ

ながあ **1.長編みの高さ（立ち上がり目）は鎖編み3個**
くさりあ

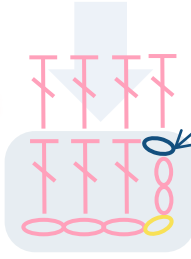
編目記号



立ち上がり（編み目の高さ）＝3目

他の長編みと同様に必要

長編みの2段目を編むと
立ち上がり目の
バランスがよくなる



長編みの2段目を
編むとき拾う目（頭）
立ち上がりの鎖編み3目は
長編みの2段目を編むと、
長編みの「頭」と「足」のようになり
バランスがよくなる。

長編みの「頭」と「足」

あたま あし

編目記号

あたま 頭

あし

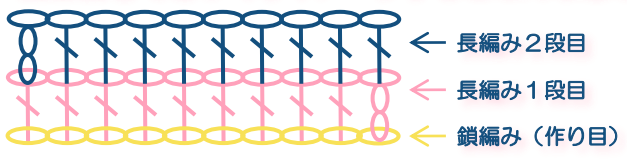
実際の編み目

ながあ **2.長編みの面積も鎖編み3個分・・・「頭1目」＋「足2目」**
くさりあ あたま あし

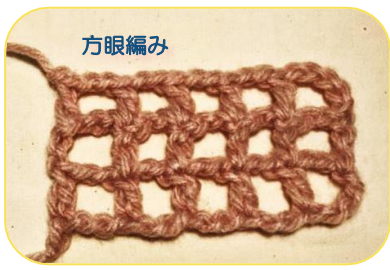
長編みの編み地では、立ち上がりの鎖編み3目は、編み進めると「頭」と「足」の役割に分かれていきます。編目記号の頭の部分の横棒は、実際には鎖編みのような見た目をしており、この鎖編みのような部分は、上の段を編むときにかぎ針をひっかけて拾う部分です。

立ち上がりの鎖編み3目
＝長編みの「頭」1目＋「足」2目

編目記号でざっくりイメージするとこんな感じ

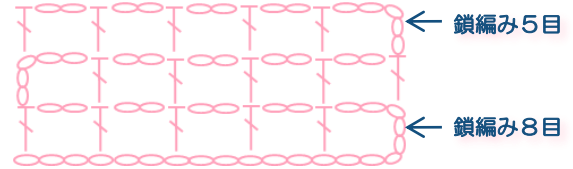


この基本がしっかり理解できれば、長編みと鎖編みでできている模様編みはすぐに頭に入ります。



方眼編み

←左の編地は「方眼編み」と呼ばれる模様編みです。編目記号で表すと下↓のようになります。



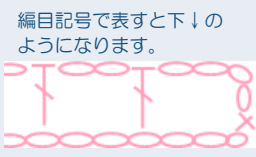
立ち上がりの足部分2目
＋立ち上がりの頭部分1目
＋模様の2目

模様の2目
＋立ち上がり目の作り目の1目
＋立ち上がりの足部分2目
＋立ち上がりの頭部分1目
＋模様の2目

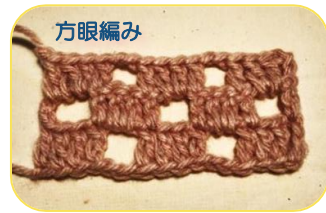
ちょっとしたコツですが、方眼編みの鎖編みが8目続く場所は、角が丸くなりがちです。これは、作り目の鎖編みと立ち上がりの足部分を細編みでつなぐと丸くなるのを防げます。



細編みを入れる

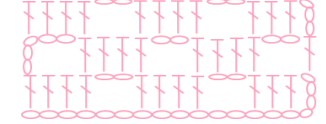


編目記号で表すと下↓のようになります。



方眼編み

←左の編地も「方眼編み」によく組み込まれる模様です。編目記号で表すと下↓のようになります。



立ち上がり3目が「頭」と「足」の役割になっているのがわかりやすいですね。

実際には半目ずれたり、編地模様によって変わってきますが、基本の考え方として、頭にいらしてくださいね♪